

# 外国人児童生徒に対する 教育支援への取り組み



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

## 〔本学における取り組みの経緯〕

- 昭和62年度 総合科学課程日本語教育コースを設置
- 平成12年度 国際理解教育課程日本語教育コースへ変更
- 平成19年度 課程名を現代学芸課程に変更

### 〔現在の日本語教育コースの専攻科目〕

日本語教育学入門, 日本語教授法, 日本語学入門, 言語学入門, 外国語演習,  
日本語教育実習 I・II, 異文化間コミュニケーションなど

## 1. 平成15～16年度 学長裁量経費による措置

### 『外国人児童・生徒のための教科学習補助教材の開発』

作成補助教材  
外国人児童のためのさんすう文章題  
(1～3年生)

## 2. 平成17年度 愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム開設

外国人児童生徒教育支援に関する相談窓口



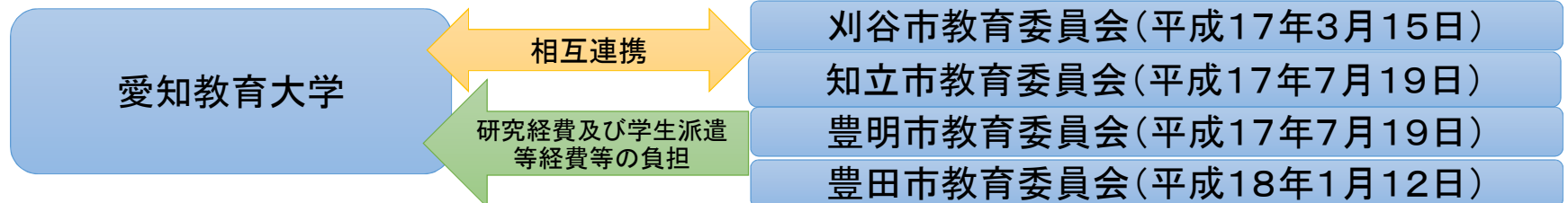
### 3. 平成17～19年度

文部科学省大学改革推進事業・特色ある大学教育支援プログラム  
現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

#### 『外国人児童生徒のための教材開発と学習支援』

作成補助教材  
『外国人児童のための算数文章題  
(4～6年生)』  
小学生用の異文化理解教材  
『地球のうらからこんにちは  
—ブラジル人児童と日本人児童のため  
の異文化理解ハンドブッカー』

教育委員会との連携(平成17年～平成18年)



### 4. 平成20～25年度

平成20年度特別教育研究経費(連携融合事業・特殊要因経費〔政策課題対応経費〕)

#### 『教育委員会との連携による外国人児童生徒のための教材開発と学習支援』

## 5. 平成21～23年度

特別教育研究経費(連携融合事業)(平成22～23年度特別運営費交付金(特別経費)プロジェクト分⑥地域貢献機能の充実)

### 『外国人児童生徒のための学習支援事業』

## 6. 平成21年度～平成26年度

定住外国人の子どもの就学支援事業 文部科学省子ども架け橋基金

国際移住機関(IOM)との委託契約 ★国立大学法人としては唯一の事業実施団体

### 『虹の架け橋教室』

平成20年度に発生したリーマンショック後の経済不振から、比較的費用のかかる外国人学校に在籍していた児童生徒が学校をやめ、不就学状況にあることが問題化したことから、文部科学省が新たに子ども基金を設立し、国際移住機関が虹の架け橋教室事業を実施。平成27年度からは地方自治体が直接の実施団体となった。

## 7. 平成23～25年度

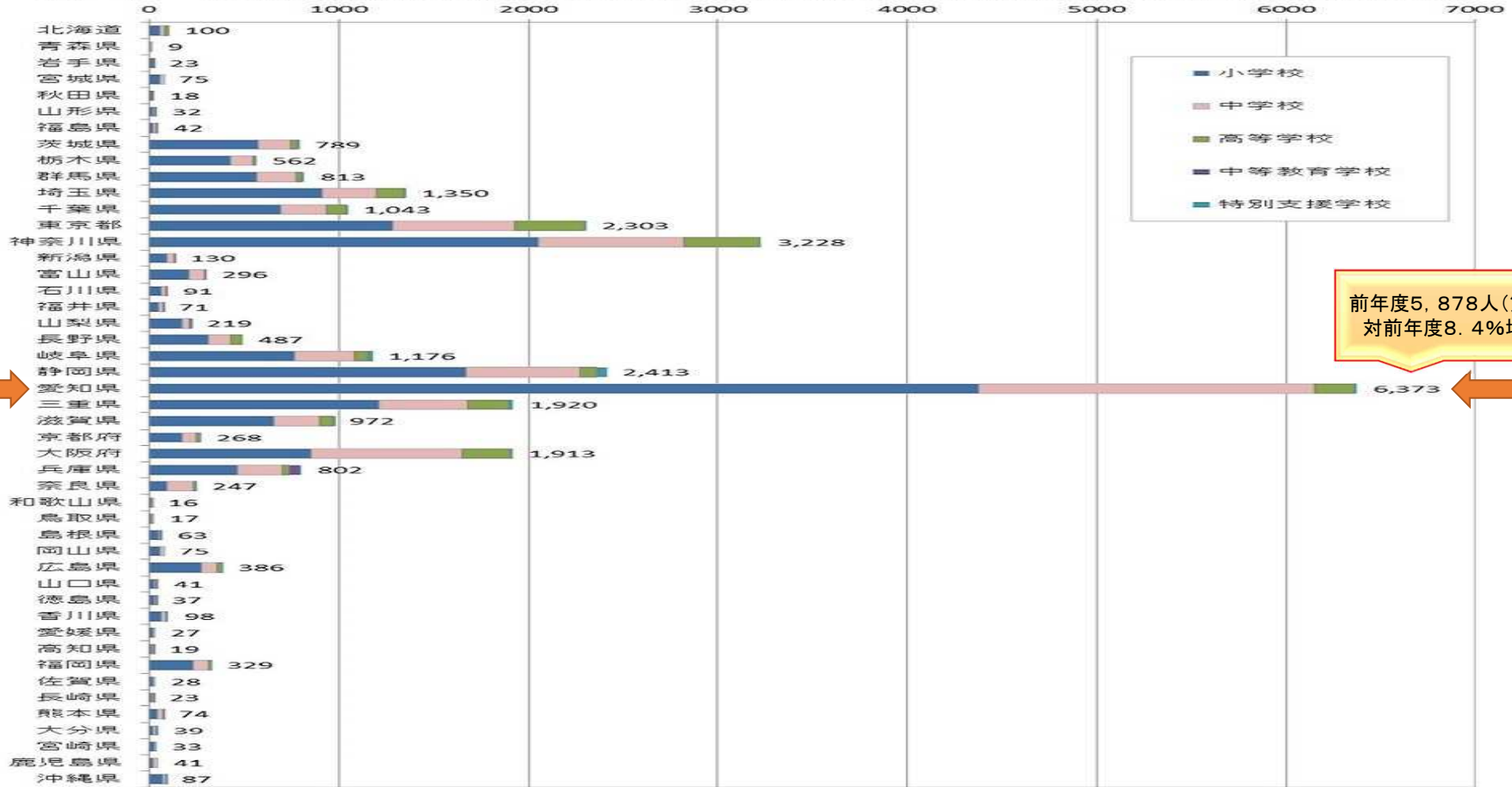
特別運営費交付金(特別経費)プロジェクト分⑥地域貢献機能の充実

### 『外国人児童生徒を軸とした多文化共生社会をめざす教育支援の構築』

# 〈愛知県の状況〉

参照：総務省統計局(e-Stat)平成26年度(平成26年5月1日現在)データ

①-2 日本語指導が必要な外国人児童生徒の学校種別在籍状況(都道府県別)

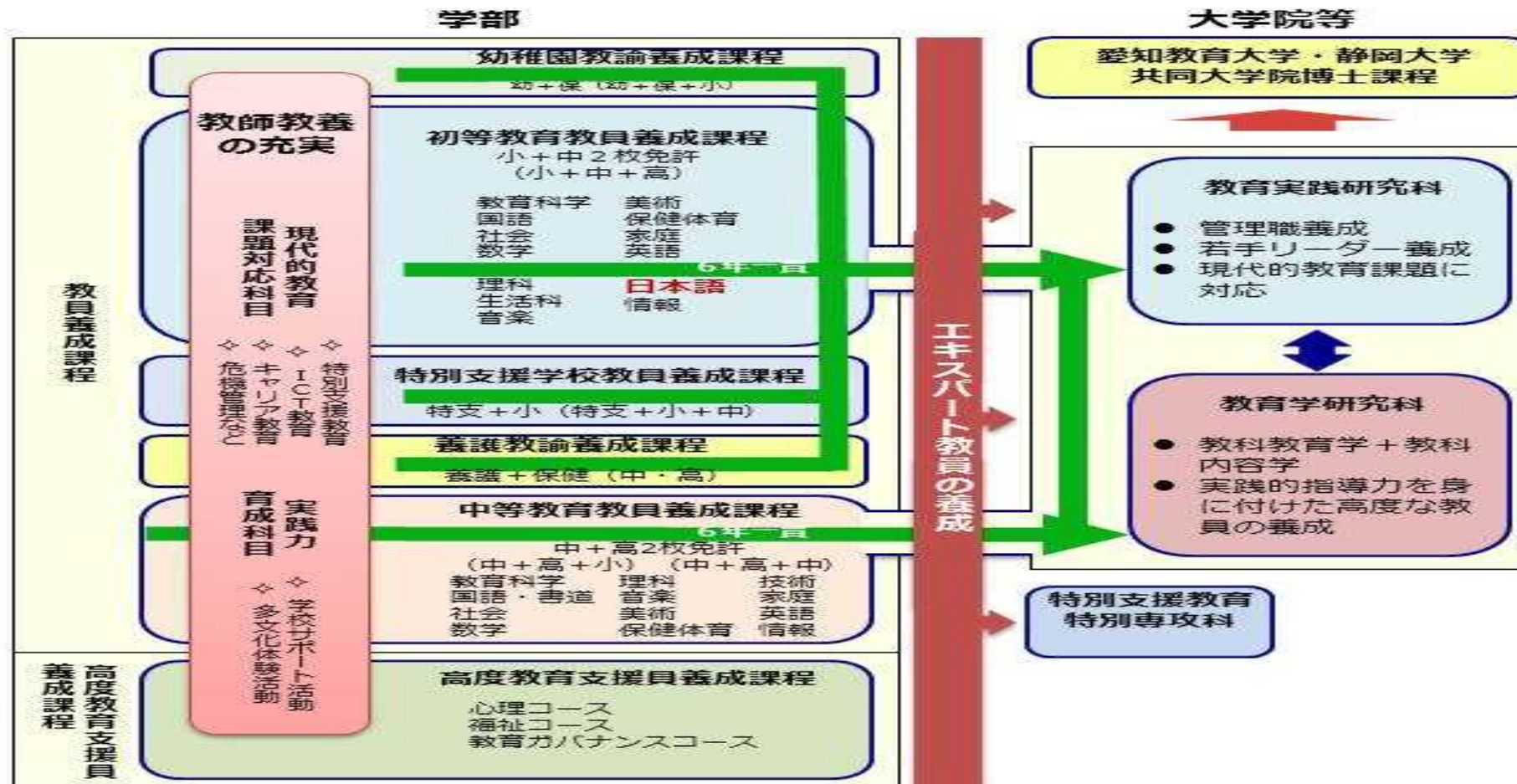


前年度5,878人(第1位)  
対前年度8.4%増



# 〈本学の改革プラン(平成29年度以降)〉

現代学芸課程・日本語教育コースを、初等教育教員養成課程へ移設



# 愛知教育大学の現在の取り組み

- 外国人児童生徒支援リソースルーム
- 外国人児童生徒支援プロジェクト
- I 大学での教育(学生の育成)**
  - 1. 日本語教育専攻の学生に向けて
  - 2. 教員養成課程の学生に向けて
  - 3. 学生ボランティアの派遣事業
- II 学校教育の場で**
  - 1. 子どもたちに向けて
  - 2. 虹の架け橋事業
  - 3. 現職教員の方に向けて

## III 地域の場で

- 1. 地域の方に向けて

## IV 今後の方向性

- 1. 大学での教育①
- 大学での教育②
- 2. 学校教育の場で
- 3. 地域の場で
- 4. 学校教育と地域に向けての取り組み
- 5. 外国人児童生徒支援の課題



## 外国人児童生徒支援リソースルーム

- 外国人児童生徒支援にかかる調査活動
- 教材や論文等の収集、情報提供活動
- 学生の指導、相談対応
- 研修会、講演会の企画と調整、実施
- 教育委員会、学校現場との連絡調整活動
- 現職教員の方や地域の方からの相談対応
- 教材等の編纂・発行・配布

(現スタッフ)

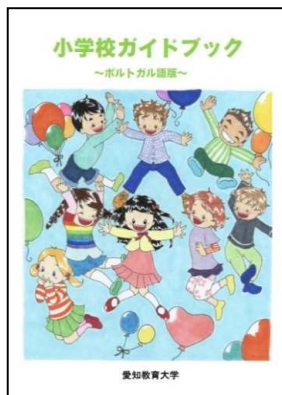
日本語教育講座教員2名

研究補佐員 3名(2015年度までは5名)

事務補佐員 1名



# 外国人児童生徒への教育支援のために作成した補助教材



幼稚園・保育園について教えてください  
**幼儿园 (yóu'ér'yuán) 或 保育园 (bǎoyù'yuán) 是什么地方?**

可以接受孩子的设施。主要教育化。幼儿园 (yóu'ér'yuán) 和保育园 (bǎoyù'yuán)。

| 名称   | 幼儿园                                       | 保育园                                       |
|------|---|---|
| 目的   | 幼儿园是为3岁至6岁儿童提供教育、保育和娱乐的场所。不同年龄的孩子，活动内容不同。 | 保育园是为3岁至6岁儿童提供教育、保育和娱乐的场所。不同年龄的孩子，活动内容不同。 |
| 名称   | 幼儿园 (yóu'ér'yuán)                         | 保育园 (bǎoyù'yuán)                          |
| 入园年龄 | 3岁至6岁                                     | 3岁至6岁                                     |
| 入园时间 | 上午8:00至下午5:00                             | 上午8:00至下午5:00                             |

幼稚園・保育園について教えてください  
**Ano ba ang Youchien (Kindergarten) / Hoikuen (Day Care)?**

May dawatang maituturing bilang saan maaaring pangalagaan ang bata, Youchien o Hoikuen.

| Impormasyon                         | Youchien   | Departmento ng Bata o Hoikuen  |
|-------------------------------------|--|--|
| Edad (taong galing)                 | Ang Youchien ay nagtatampag sa edad pangalapat ng edad nang 3 o 4 taong gulang na ang bata na ang Youchien.  | Edad ng bata pangalapat ng elementarya. (Parehas) Ang edad na pangalapat ng bata ay maaaring magkabit sa bawat Youchien.   |
| Patakaran                           | Mayroong prinsipal na pamamagitan ng Youchien. Maaaring ipatibay sa mga aktibidad ng bawat Youchien.   | Mayroong prinsipal na pamamagitan ng Hoikuen. Maaaring ipatibay sa mga aktibidad ng bawat Hoikuen.   |
| Pagpapakilala ng Youchien / Hoikuen | Ang Youchien ay nagtatampag sa edad pangalapat ng edad nang 3 o 4 taong gulang na ang bata na ang Youchien. (Parehas) Ang edad na pangalapat ng bata ay maaaring magkabit sa bawat Youchien. | Ang Youchien ay nagtatampag sa edad pangalapat ng edad nang 3 o 4 taong gulang na ang bata na ang Youchien. (Parehas) Ang edad na pangalapat ng bata ay maaaring magkabit sa bawat Youchien. |
| Oras ng Pagpapalaganap              | 8:00 AM - 2:30 PM<br>Maaaring magpapasailalim sa bawat Youchien.   | 7 AM - 6 PM<br>Maaaring magpapasailalim sa bawat Hoikuen.  |

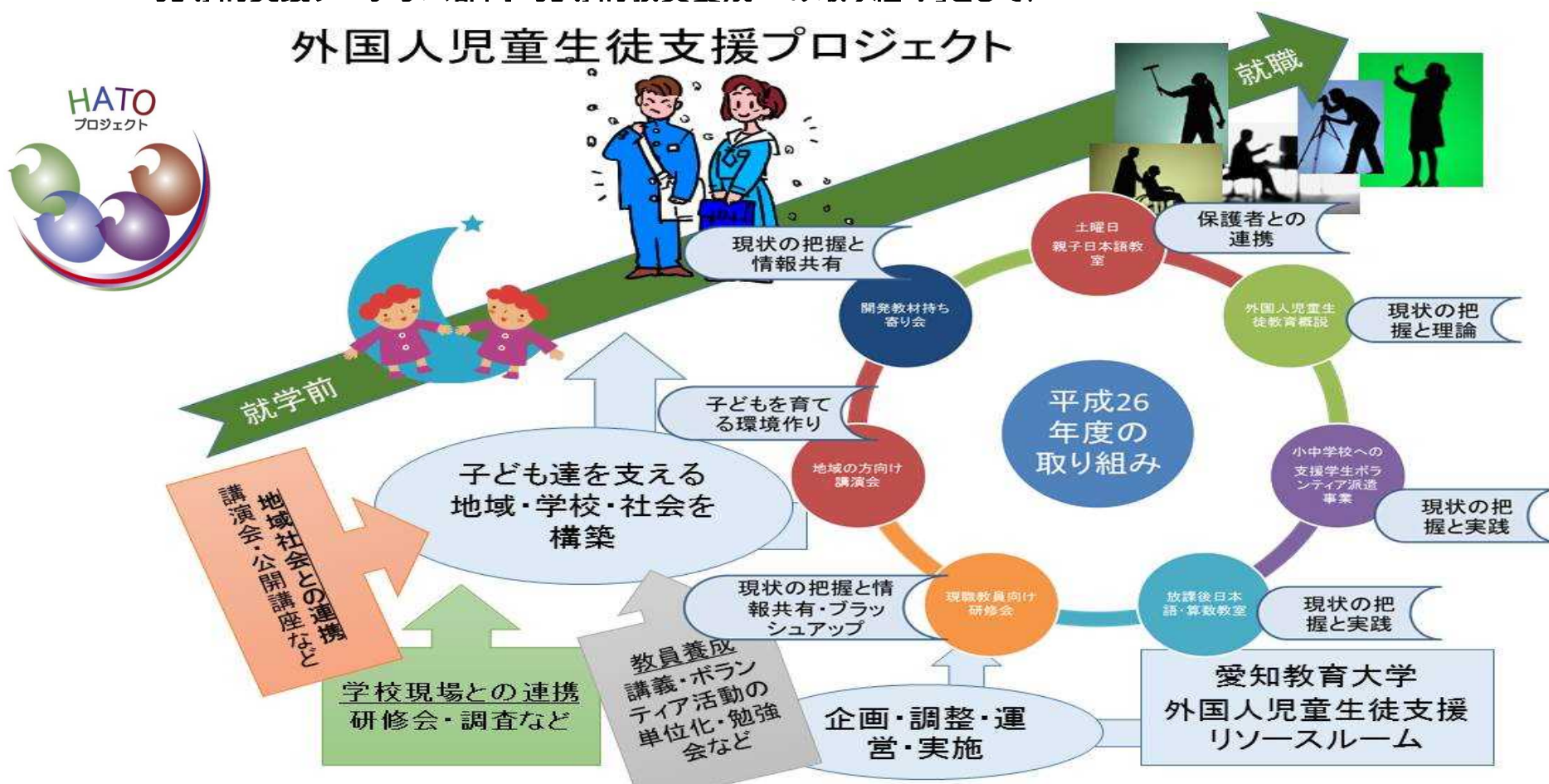
本文例  
 (左:中国語, 右:タガログ語)

文部科学省 国立大学改革強化推進補助金事業(平成26~29年度)

大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築

ー教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクトー(北海道教育大学(H)・愛知教育大学(A)・東京学芸大学(T)・大阪教育大学(O))  
「先導的実践プログラム部門 先導的教員養成への取り組み」として。

外国人児童生徒支援プロジェクト

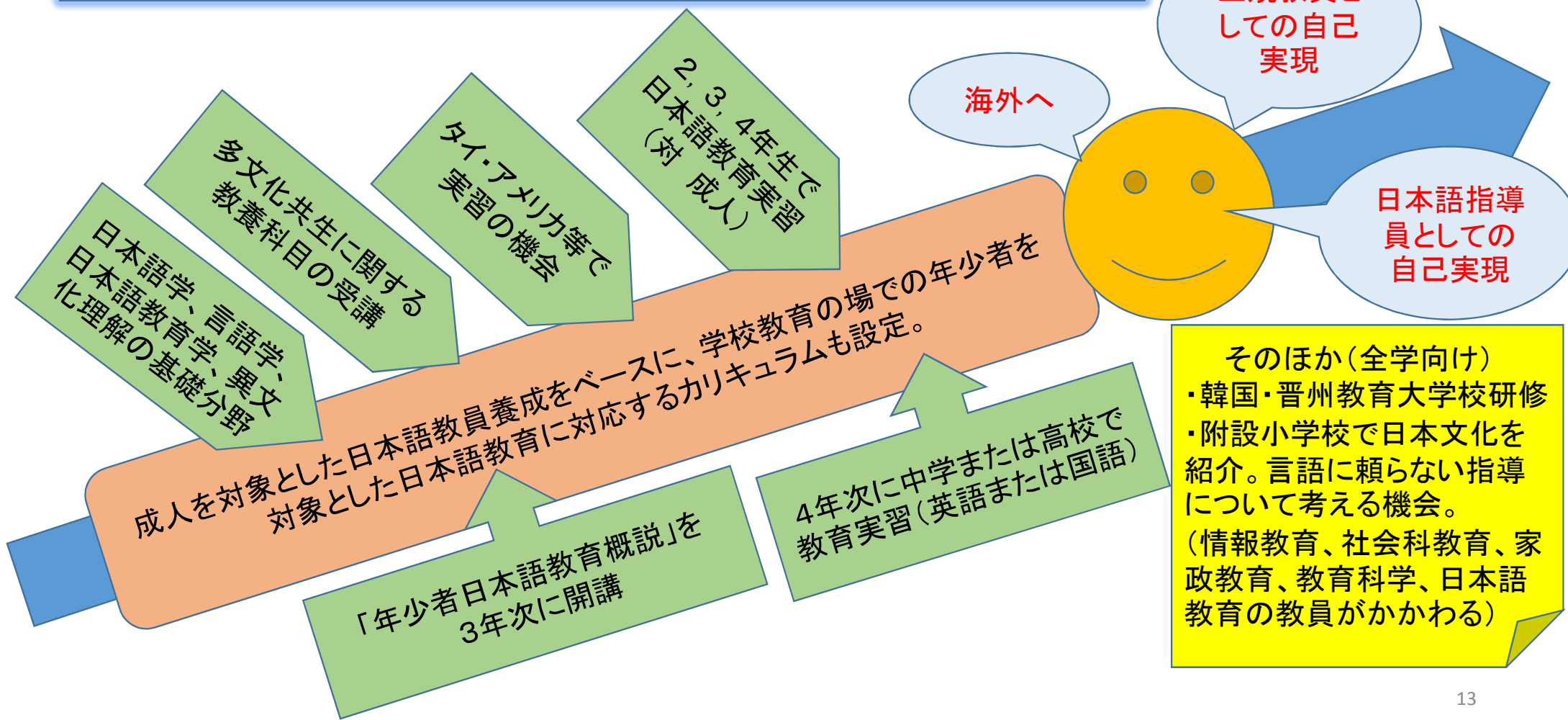


# I 大学での教育

学生の育成



# 1. 日本語教育専攻の学生に向けて



## 2. 教員養成課程の学生に向けて

日本語教育学入門  
選択受講可能

多文化共生に関する  
教養科目の受講

初等・中等教育で活躍できる人材の養成

3・4年生対象  
「外国人児童生徒  
教育概説」

教員とし  
ての自己  
実現

そのほか

- ・ 韓国・晋州教育大学校研修
- ・ 附設小学校で日本文化を紹介。言語に頼らない指導について考える機会。  
(情報教育、社会科教育、家政教育、教育科学、日本語教育の教員がかかわる)



### 3. 学生ボランティアの派遣事業

「ボランティア  
奮闘記」の  
配布

新入生ガイダンス  
新学期ガイダンスでの  
呼びかけ

現場の先生方と一緒に  
作業を行う研修会

外国人学校、  
夜間中学高校、  
他大学の見学や交流

NPO団体での活動  
(多様な状況を知る)

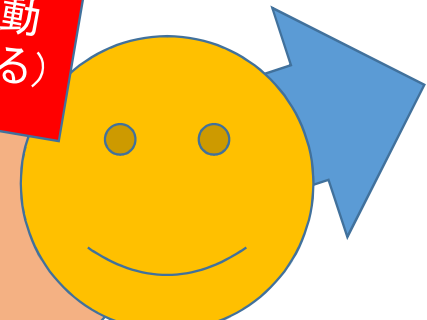
小中学校への外国人児童生徒教育を支援する  
ボランティア活動への参加

ボランティア希望学生に対する  
勉強会や研修会開催

指導案作成、教材作成  
の相談対応

年度末の報告書作成に  
よる経験や情報の共有

ボランティア登録者数  
過去5年 約200名で推移





## Ⅱ 学校教育の場で



# 1. 子どもたちに向けて

外国人児童生徒支援リソースルーム作成教材や、選定教材、学生が自作した教材を使用して指導。

学期中  
平日

個別支援  
集団支援

学期中  
土曜日

土曜親子  
日本語教室

夏休み

夏休み  
宿題教室

## 2. 「虹の架け橋事業」

(定住外国人の子どもの就学支援事業)

2009年度～2011年度

事業実施

- ・ 愛知教育大学内教室
  - ・ 豊明市内教室
- “PLUS EDUCATE”

\*国立大学法人としては  
唯一の事業実施団体

2012年度～2014年度

事業実施

- ・ 豊明市内教室
- “PLUS EDUCATE”

\*国立大学法人としては  
唯一の事業実施団体

2015年度～現在

- ・ NPO団体  
“PLUS EDUCATE”

愛知教育大学とは別組織  
として活動を継続

愛知教育大学から教材の提供、  
ボランティア希望する大学生を派遣し、  
指導経験を重ねていく。

# 3. 現職教員の方に向けて



スキル  
アップの  
ための  
研修会の  
開催

免許更新講習

講演会の  
開催



指導方法や  
教材について  
相談対応

年次報告書  
による  
知見の共有



教材の提供

学生ボランティアの  
授業補助



## Ⅲ 地域の場で

# 1. 地域の方に向けて

日本語等の支援をしている方々・NPO団体

日本語を母語としている方々

講演会の開催

講演会の開催

公開講座の開催

教材の提供  
指導法の相談対応

公開講座の開催

日本語を母語としていない方々

土曜親子日本語教室



## IV 今後の方向性

# 1. 大学での教育①

## ～改組後 外国人児童生徒支援について

### 全学部生必修科目としての「外国人児童生徒教育」関連科目

愛知県での教員養成には必要・不可欠の情報

日本語教育や外国人児童生徒の学習や生活支援のための科目

日本語教育専攻の開く授業を選択的に受講してもらいたい

### 課題

- 約900名の学生に同質の講義、体験、活動を提供したい

## 大学での教育②

### ～改組後 日本語教育選修 のイメージと課題

- 小学校教員の免許状を習得して卒業
- 中学・高校教員の免許状「国語」「英語」を取得して卒業

学校現場で正規教員として、  
現代的課題に対応できる人材

日本語教育は  
《未知》の分野

免許状科目ではない  
↓  
授業科目の精選が課題

### 課題

- ①専門を学ぶ機会の変化 現行66(必修22、選択44)単位⇒14単位前後に
- ②教員採用時に専門(日本語教育)が活かせるよう県と協議していきたい
- ③実習(経験)は何を主体にするか。「免許教科優先」⇔「日本語指導優先」

## 2. 学校教育の場で

- 日本語指導を学んだ教員を育てる
- 広く教員養成課程で生かせる骨格となる知識や技能の精選
- 現職教員の方を対象とした研修会など学び続けることをサポートする体制





### 3. 地域の中で

- ・子どもたちを見守る環境の整備への支援
- ・学校を見守る保護者・地域の方々に対する情報提供と多文化理解をサポートする講演会や公開講座



## 4. 学校教育と地域に向けての取り組み ～「AUE日本語指導員」育成と認定

- 次期中期目標・中期計画で掲げる
- 地域の日本語教育、学校現場での日本語教育を支える人材の養成
- 教育委員会、学校現場、地域の日本語教室のニーズを踏まえ、大学独自のカリキュラムを作成して認定していく

## 5. 外国人児童生徒支援の課題

### 事業発展のための人材の確保

- 学生教育、地域貢献に対応していくためには、現員では困難な事業が多い

### 事業継続のための経費の確保

- 年限のあるプロジェクトとしての対応では、知見の積み重ねのある優秀な人材の確保が困難

個々の大学での対応には限界がある。

国として、活動を発展継続させる財政的支援が必要。